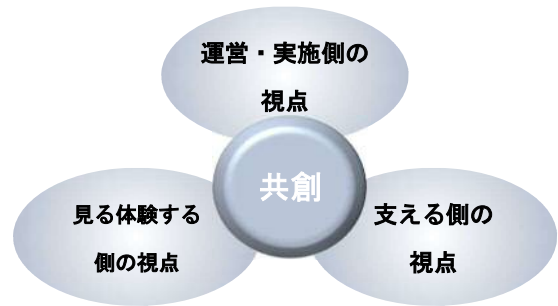


第5章

計画の推進体制 及び検証

本計画の取組については、第2期計画で取り入れた「共創」という考え方^(※)を継承した上で、庁内の関係部局とも連絡・調整を行うとともに、各文化芸術施設と連携し、効果的かつ着実に推進します。

また、札幌市文化芸術基本条例第10条に基づく「意見交換の仕組み」において、前年度の取組状況はもちろん、「文化芸術意識調



※文化芸術に関わる様々な立場の視点を共有し、新たな価値を創りあげていくという考え方

査」の結果や定性的な側面も捉えた指標、事業の効果等を踏まえて、以後の取組についての意見交換を行うなど、市民、アーティスト、文化芸術団体等の声を取り入れながら、施策の推進・在り方の検証を行います。

さらに、次回計画を策定する際には、本計画の検証や評価を行い、それら評価内容やそれまでの社会情勢の変化等を反映させます。

なお、計画期間の5年間において、文化芸術を取り巻く環境に、大きな社会情勢の変化等があった場合は、必要に応じ計画を見直すことも検討していきます。

【計画の推進に当たっての指標】

指標		現状値	目標値
		平成 29 年度 (2017 年度)	令和 5 年度 (2023 年度)
全体	文化芸術環境に対する満足度	42.7%	50.0%
ステージ 1	文化芸術の鑑賞活動への参加割合	82.3%	85.0%
	市内主要イベントの観客者数 (※1)	808,365 人	890,000 人
	主要文化芸術施設の利用者数 (※2)	1,404,384 人	2,310,000 人
ステージ 2	子どもが自然、社会、文化などの体験をしやすい環境だと思う人の割合 (※3)	56.8%	70.0%
	文化芸術の鑑賞以外の活動への参加割合	27.5%	40.0%
ステージ 3	文化財関連施設利用者数 (※4)	275,608 人	380,000 人
	クリエイティブ産業の従事者数 (※3)	35,934 人	39,000 人
	来札観光客数 (※3)	15,271 千人	18,000 千人
ステージ 4	大通情報ステーションで情報発信した市内開催の文化芸術イベント数	6,820 件	10,000 件

※1 対象イベントは、PMF、サッポロ・シティ・ジャズ、さっぽろアートステージ

※2 対象施設は、市民交流プラザ（平成 30 年（2018 年）10 月オープン。現状値なし）、札幌芸術の森、札幌コンサートホール（Kitara）、教育文化会館、市民ギャラリー、本郷新記念札幌彫刻美術館

※3 まちづくり戦略ビジョンの目標値（令和 4 年（2022 年））

※4 対象施設は、時計台、豊平館、旧永山武四郎邸及び旧三菱鉱業寮（平成 30 年（2018 年）6 月リニューアルオープン。現状値なし）、八窓庵、琴似屯田兵村兵屋跡、清華亭、旧黒岩家住宅、新琴似屯田兵中隊本部、札幌村郷土記念館、丘珠縄文遺跡（平成 30 年（2018 年）5 月オープン。現状値なし）